

## わが家で初めての娘と二人で楽しむ夏キャンプ

この夏も北海道の短い夏を楽しむために恒例の夏キャンへ行ってきました。今回は早い段階でママさんはお盆の同窓会参加で単身帰省、専門学校生の二女はバイト、震災の影響もあって東京からUターン帰郷してきた長女は地元での就職活動で参加は難しい！という中で最悪の場合は、僕一人でキャンプへ行くとことになりそうでした。

たまたま2011年の春に今さらながら、この歳（53歳）になって普通二輪バイクの免許を取得したので、もしかしていきなりソロキャンプツーリング？ ガルヴィと兄弟話だったガルヴィを買って勉強しない！なんて思っていました。

本当にバイクでキャンプとなったら積載量に制限があるので、仲間がキャンプしている場所に合流させていただくというプランも用意。幸い、長女が同行してくれることになったので、例年通り、愛車のワンボックスで行くことになりました。

近年は道南ばかりキャンプしてたので、久しぶりにオホーツク海を目指すことに。朝8時に自宅をスタートし、高速道を利用してながらオホーツク海に着いたのが昼過ぎ。長女の「海鮮が食べたいキャンプ」というテーマもあったので、まずは漁師直営の海産物販売所で昼食。ここは格安でした。

高です！  
サイトは眼前に広がるオホーツク海ブルー！ 果てしなく広がる水平線。雲一つない、抜けるような青空。さらに水洗トイレ完備。ゴミ捨てOKなのに無料。ココまで長距離を走ってきたかいがありました。これぞ北海道のキャンプ場です。

慣れたウスタイベ千畳岩キャンプ場に到着してサイトの設置しようとしたのですが、ものすごい強風でタープを建てようにもフレームパイプの関節が逆に曲がるほどの風。タープを諦めてテントを設置しようにも、

## テントが丸ごと飛び出す始末。

もう、笑うしかありません。少し離れたところで設置済みの地元のキャンパーさんご夫婦が、見るに見かねて手伝いにきくれました。おかげで強風のなか、なんとかテントを設営できました。あのとこのご夫婦さん、誠にありがとうございました（ガルヴィ以前、キャンプの達人として紹介された僕としてはお恥かしい限りです）。

風がおさまったころ、仲間家族も加わり宴会モードに。その日は久しぶりの合同キャンプに話が盛りあがり、楽しいひとときを過ごしました。翌朝は晴れていましたが少し怪しい雲行き。前日にテント設営を手伝っていた奥さまが、あまった水を使いませんか？ とサイトまで来てくださったので、ありがたくちよっだいしました。

で、奥さまの着ているTシャツを見てビックリ！なんと胸のプリントに「夢想連えさし」の文字。そうです。2011年2連覇したヨサコ



娘と二人でこんなふうにもキャンプするのも最後かなあ...

イの大賞チームの方です。そう言えばココが本拠地の枝幸町！この遭遇はありえませぬ。今でも脳裏に残る素晴らしい演奏で、TVで見えていて思わず「お〜」と声が出るくらい最高のパフォーマンスでした！

朝食後、観光ドライブに行くことに。まずは宗谷方向にクルマで20分ほどの北見カムイ岬公園。風が強かったですが、眺めの良い景勝地です。そのまま中頓別町へ向かいました。

ここはウインタナイン砂金掘り公園が有名ですが、過去に制覇しているのでパス。走行中、偶然に町の外れにある「寿公園」を発見。なんとリタイアした自衛隊の戦闘機や実際の開拓に使用した本物の蒸気機関車が展示されています。田舎のどかな道路沿いに、いきなり戦闘機が現れるんですから、それは驚きです。

## 娘と二人だけの夏キャンプ

次は中頓別町郷土資料館。発掘された土器や開拓時代の道具展示や昔の暮らし、町の歴史を紹介するビデオなど小振りな施設で入館料1200円のわりには内容が濃く、勉強になります。日曜日なので閉まっている施設や食堂やお店が多かったのですが、市街地でラーメンを食べたあとサイトへ戻り、夕方から雨天になった空を恨めしそうに眺めて就寝。

最終日の朝はかなりの雨でした。雨の合間にサイトの撤収をしようとして

もくるんでいましたが、やみそうもないので雨に濡れながらの撤収にさらに激しくなってくる雨のなか濡れた道具を無理矢理、クルマに押し込み完了です。仲間家族とはキャンプ場で別れ、その後「道の駅 アイランド岡島」でおみやげを買って札幌へ向かいました。道中はほとんど雨。風邪をひいたらしい娘の体調も考慮して行きと同様、高速道を使って夕方、自宅に到着しました。今回はわが家としては初めての、

## オフ会中止の晩に義理の姉と自宅でキャンプ飯

春から企画していた某SNSのコミュニティ「第4回オフ会」が台風12号の影響で、やむなく中止になってしまいました。初参加者も含め、15組40人超という、われわれとしては大規模なオフ会予定で、今回は「ピアサバー」も手配して、参加者全員楽しみにしていました。

しかし、会場となるキャンプ場から「台風接近に伴い閉鎖いたします」との連絡があり、残念な結果に。オフ会開催予定だったその日の晩、義理の姉がわが家に遊びに来ることになり、「夕食は何にしよう？」と女房。「キャンプの食材があるよね」ということで、思いがけずわが家のキャンプ飯の定番、焼肉&ホルモン焼きを自宅で食べることに。

タレにニンニク、ショウガ、豆板醤を入れ、肉、ホルモンを揉み込む。卓上コンロに焼肉プレート載せたら準備完了。台風のおかげで、

焼肉のモウモウとした煙も、窓をほんの少し開けるだけでも屋外へ抜けていきます（笑）。

わが家のキャンプ飯を初めて食した義理の姉も絶賛！「缶ビールと焼酎を飲み「食事だけキャンプ気分」を味わうことができました。でもやっぱりキャンプをしながらキャンプ飯が食いたい、と痛感した僕なのでした。（東京都/すべぎ@遠藤）

火をおこしていたら、急に炭がはぜて熱い炭のカケラが目に入り、数日間目が痛かったことがありました。結局病院には行きませんでした。友人に話したところ、「普通は瞬間にまばたきして結構防げるもんだぜ」とのこと。僕は反射神経がニブインだろうか。（東京都/むう）